

あなたも一緒に歌い奏でませんか？



京都府人権啓発イメージソング

世界がひとつの家族のように

作詞：鮎川 めぐみ 作曲・編曲：千住 明

- 1) 悲しいニュースを聴くたびに どうしてなのかと考える
何かが出来ないだけじゃなく だけど心は動いてる
空に星がきれいだね 風に花が揺れているね
世界がひとつの家族のように もしもなれたらどうだろう
遠くに暮らす君のこと もっと知りたくなるだろう
- 2) あたりまえに過ぎる景色が 幸せなんだと気付く時
昨日より今日少しだけ 優しくなれる気がするよ
響き合える果てしなく 日に映るすべてのいのち
世界がひとつの家族のように もしもなれたらどうだろう
毎日出会う君のこと もっと大事になるだろう
- 3) 空に星がきれいだね 風に花が揺れているね
世界がひとつの家族のように もしもなれたら素敵だね
今この時を生きている 同じ名前の星の上

2013年春、楽曲「世界がひとつの家族のように」は誕生しました。

この曲は、作詞家の鮎川めぐみさんと、作曲家の千住明さんのお二人によって、京都府人権啓発イメージソングとして作られました。
東日本大震災で絆の大切さが見直されたように、人と人がつながり、支え合うことこそ、今の社会に一番求められていることだと思います。

絆があるからこそ社会が成り立ち、そこに人権に対する心も生まれてくると 생각합니다。

歌詞の中にある「世界がひとつの家族のように、もしもなれたら素敵だね！」私たちはこの言葉に、
同じ地球上に、共に生きることを運命づけられている者同士、お互いを尊重して、決して相手をさげすんだりせず、
助け合い、けんかしても仲直りする、そうした関係について考える機会になればという思いを込めています。

「みんなが家族のように大切」を合言葉に、京都から日本中、そして世界にこの歌の思いが広がっていったら素敵だと思います。



紙芝居上演

思いやりの心や人と人とのつながり、支え合いの大切さをテーマとした鮎川めぐみさん作の紙芝居「アカショウビン」や「カタモリ桜の木の下で」。また、29年度に制作した「えがおのおくりもの」などを上演します。



みんなで歌おう 「世界がひとつの家族のように」 「えがおのおくりもの」

鮎川めぐみさんによる歌と手話のレッスンの後、来場者と一緒に「世界がひとつの家族のように」を手話を交えて合唱します。また、子ども向けサブソング「えがおのおくりもの」には、楽しい振付もあります。



こんな活動しています！

～「世界がひとつの家族のように」広め隊～

「世界がひとつの家族のように」の歌が伝えたいさまざまな思いに賛同し、

人権イベントなどでの運営、合唱等の活動を行う大学生や団体等の方々
中心のボランティアの集まり。

この歌を、多くの方々に歌っていただく中で、身近なところから人権について考えるきっかけになるよう、人権啓発活動を展開しています。



塗り絵コーナー

世界中の人たちが仲良くなってほしいという願いをこめて、世界の民族衣装を着た人型に切った紙に色を塗り、手をつなぐようにして大型パネルに貼っていきます。



音楽ステージ

鮎川めぐみさんが作詞した曲をはじめ、「命の大切さ」や「つながり、支え合い」をテーマとした楽曲などを広め隊が披露します。



子ども向けステージ

一人一人の良さを認め合うことや友達を大切に思うことをテーマとしたパネルシアターや人形劇を上演します。また、楽しい手遊び歌や季節の歌の合唱もあります。

DVD

CD、
DVD
情報



CD

「世界がひとつの家族のように」の合唱を収録したCDや作曲家千住明さん、鮎川めぐみさんのメッセージをはじめ、みんなで歌い奏でた映像を収録したDVD、また子ども向けサブソング「えがおのおくりもの」のCDがあります。

入手方法はWEBをご覧ください。 [世界がひとつの家族のように](#)

<http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku>

メンバー
大募集

「世界がひとつの家族のように」広め隊メンバー募集

あなたも広め隊活動に参加しませんか。ただ今、活動メンバーを募集しています。

問い合わせ先

京都市人権啓発推進会議
(事務局・京都府人権啓発推進室)

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL 075-414-4271

FAX 075-414-4268

MAIL jinken@pref.kyoto.lg.jp